



# 取扱説明書

## PORTABLE STORAGE DEVICE & MULTI - CODEC JUKE BOX Model H140

**iRiver**  
Model H140

[www.iRiver.co.jp](http://www.iRiver.co.jp)

iRiver

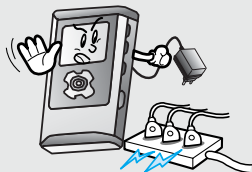


**Firmware Upgradable**

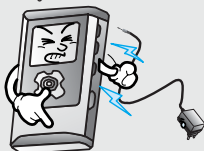
この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しく快適に  
ご使用くださいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書は紛失しないように大切に保管してください。

[www.iRiver.co.jp](http://www.iRiver.co.jp)

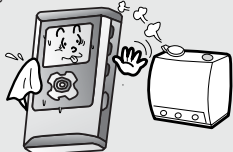
電源プラグのタコ足配線はおやめください。



無理に電源コードを曲げたり、コードが重量物に潰されて断線しないようにしてください。



湿気・ほこり・よごれの多い場所に置かないでください(故障の原因となります)。



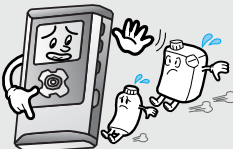
電源プラグを濡れた手で触らないでください(感電のおそれがあります)。



プレーヤの上にコップ・化粧品、薬品、水などの入った容器を置かないでください(故障の原因となります)。



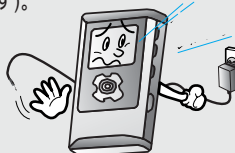
プレーヤの各部分に水を直接つけないでください。製品の表面は、乾いた布で軽く磨き、化学薬品や洗剤は塗装面を変質させ塗装がとれる原因となりますので絶対に使用しないでください。



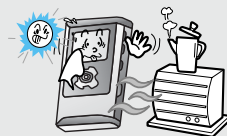
絶対に分解・修理・改造しないでください。



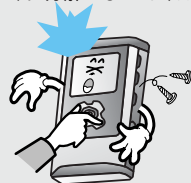
電源プラグは確実にコンセントへつなぎ、ぐらつかないようにしてください(接続が不完全ですと火災の原因となります)。



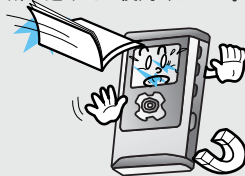
直射日光の当たる場所・冷暖房機器の近くなどの発熱源を避けてご使用ください。高温・低温・湿気の多い場所に保管しないでください。



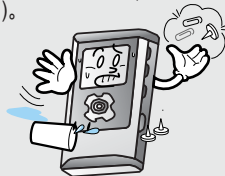
ボタンを2つ同時に押さないでください。またむやみに分解しないでください。



製品に物を落としたり衝撃を与えないでください。振動の激しい所・磁石類のある所は避けてご使用ください。



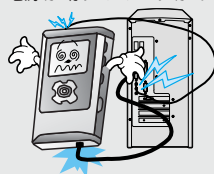
プレーヤの内部に金属類(コイン・ヘアピンなど)や燃えやすい異物を入れたり落とさないでください(故障の原因となります)。



雷が鳴るときには電源プラグを抜いてください(火災の原因となります)。



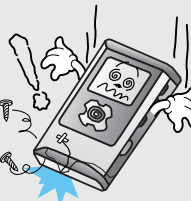
イヤホン端子・ライン入出力(アナログ)端子・USB端子を同時に1つの機器(PCなど)に連結しないでください。本製品の電源が切れるおそれがあります。



製品の上に重量物を載せないでください(横転・落下など傷害の原因となります)。



製品を落とししたり衝撃を与えないでください(故障の原因となります)。



- **ポータブルストレージデバイス**  
H140はPCへのファイル転送用のポータブルストレージデバイスとしてご使用になれます。
- **USB 2.0対応**  
最大480Mbit/Secの速度をサポートするUSB2.0インターフェースに対応します。
- **マルチコーデックプレーヤ**  
マルチコーデックプレーヤ：ポータブルストレージデバイスとして、MP3、Ogg Vorbis、WMA、ASF、WAVタイプフォーマットをサポートします(本製品がサポートするフォーマットは11/22/44/48KHz・16bit・モノラル/ステレオです)。
- **ファームウェアアップグレード**  
ファームウェアアップグレードが可能な製品として、次世代の音楽フォーマットも対応可能です。
- **多国語支援グラフィックリモコン**  
38言語をサポートする4行グラフィックLCDを採用いたしました。
- **FMラジオ機能**  
自動スキャン機能、メモリ機能により、簡単にFMラジオを聞くことができます。
- **合計7種類のイコライザ機能**  
5種類のプリセット・イコライジングパターン - Normal、Rock、Jazz、Classic、Ultra Bass、およびUser EQ、SRS WOW
- **3Dサラウンド音響**
- **ナビゲーション**  
ツリー構造で曲を検索できるので、より簡単に曲を検索することができます。
- **最大2000個のフォルダと9999個の音楽ファイルを認識します。**
- **GUI(Graphic User Interface)メニュー**
- **音声と外部ソース(Line-In/Optical In)の録音が可能です。**  
音声録音の際、AGC機能をサポートしており、録音のレベルが外部オーディオソースからの音声に基づいて自動的に調整されます。
- **外部出力(Line-Out/Optical-Out)機能。**

- Windows 2000およびWindows XPでサポートされているDisc ManagementユーティリティまたはFormat Commanderを使用しても、32GBを上回るHDDをFAT32ファイル・システムとしてフォーマットすることはできません。  
これらのOSではFAT32による32GB以上のフォーマットがサポートされていないためであり、プレーヤの不具合によるものではありません。  
ただし、FAT32によってフォーマット設定されたHDDであれば、32GBを超えるものであっても使用できます。
- Windows98 SE およびME上では、32GBを上回るHDDをフォーマットする事ができます。

個々の情報、アートワーク、テキスト、ビデオ、音声、画像、ソフトウェア、およびその他の知的財産は、著作権法および国際法によって保護されています。当該著作権所有者の許可を得ることなく、これらの知的財産を複製・配布・変更、および公共の場で表示・共有をすること、また、その全部、一部にかかわらず派生させた作品を作成したりする行為は法律により禁止されています。

iRiver社は、お客様が本製品の使用を通じて、著作権保護された知的財産を違法な方法で使用することを奨励いたしません。

用例にある会社・機関・製品・人物及び出来事などは実際のデータではありません。またいかなる会社・機関・製品・人物及び出来事と関連づける意図はなく、そのように解釈されるものではありません。当該著作権法の遵守は使用者の責任となります。著作権における管理とは別途に、この説明書のいかなる部分もiRiver Limitedの書面による明示的な承認なくいかなる形式や手段(電氣的・機械的・コピー機による複写・ディスクコピーまたはその他の方法)または目的によっても複製・検索システムへの保存・導入・転送をすることはできません。iRiver Limitedがこの説明書本案に関する特許権・商標権・著作権またはその他の知的所有権などを保有しています。本製品を使用することによりiRiver Limitedからお客様へ明示的に提供された権利のほか、この説明書の提供はお客様にこうした特許権・商標権・著作権またはその他の知的所有権などに対しいかなる使用権も与えるものではありません。

©1999~2003 iRiver Limited, All rights reserved.

Microsoft Windows MediaおよびWindowsロゴは米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。  
その他すべての名称並びに製品名は、各社または各組織の商標です。

## はじめに

安全にお使い頂くために.....	1~2
製品の特徴.....	3
ウェブサイトのご紹介.....	4
目次.....	5

## 1. 各部の名称

製品の前面 / 側面.....	6
製品の上面 / 下面 / LCDウィンドウ.....	7
リモコン.....	8

## 2. 準備

電源について.....	9
ソフトウェアのインストール.....	10
H140をPCと接続する.....	11
H140デバイスドライバの設定.....	12

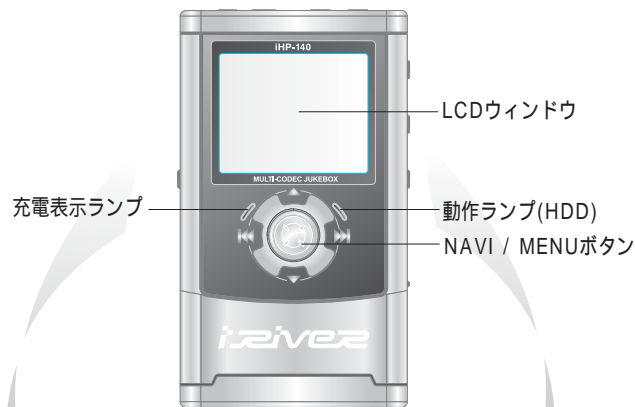
## 3. 基本機能

リムーバブルディスクとしての使用方法.....	13
H140をPCから取りはずす.....	14
音楽ファイルの再生.....	15~16
基本的な使い方.....	17~18
リモコンの使い方.....	19~20
AB区間リピート.....	21
ナビゲーション.....	22~24
音楽情報(DB)アップデート.....	25
音楽情報(DB)追加.....	26
テキストファイルの使用.....	27~30
FMチューナーの使用法.....	31~33
録音の方法.....	34~36
再生モード.....	37
EQ/SRS.....	38
メニュー設定.....	39~47
WINAMP PLAYLISTの使用法.....	48~49

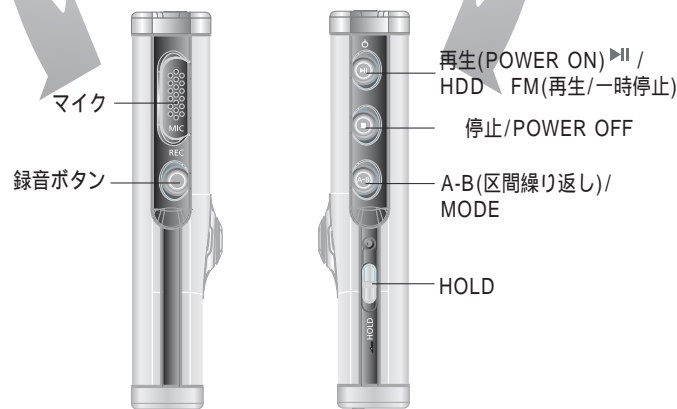
## 4. その他の情報

ファームウェアアップグレード.....	50
参考事項.....	51
使用上のご注意.....	52
トラブルシューティング.....	53
付属品.....	54
仕様.....	55
動作環境.....	56
アフターサービス.....	57

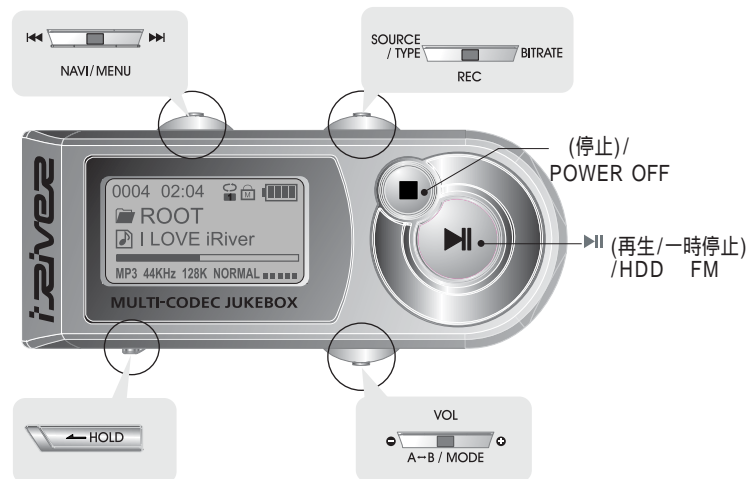
## 前面



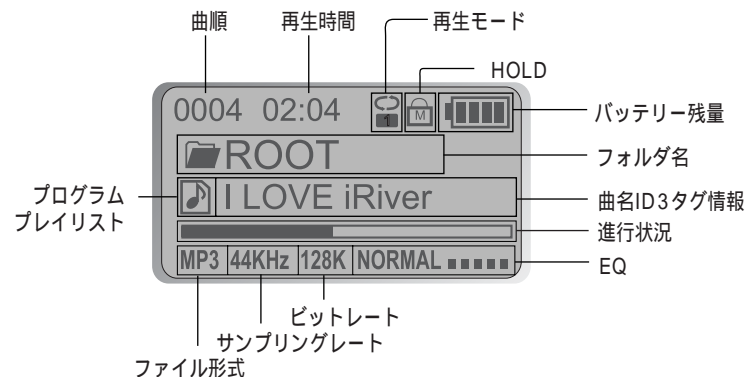
## 側面



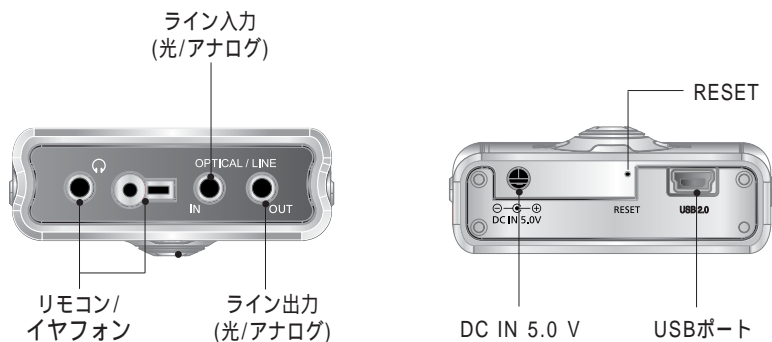
## リモコン



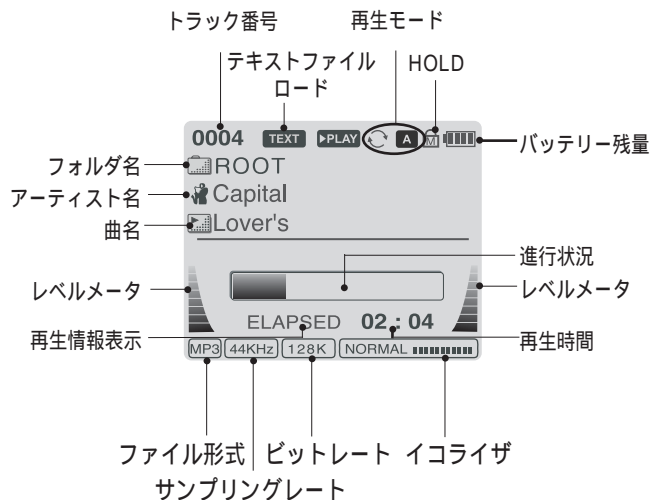
## LCD(機能表示)ウィンドウ



## 上面/下面



## LCDウィンドウ



## ACアダプタを使う

- 1 必ず本製品に付属のACアダプタをご使用ください。市販のACアダプタを使用すると故障の原因となる場合があります。
- 2 プレーヤの5.0V DC端子と電源コンセント(100V/AC)にACアダプタを接続します。



## 充電方法

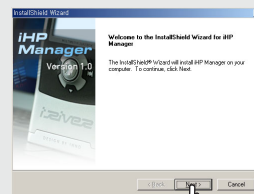
- ACアダプタがプレーヤに接続されると自動的に充電が始まります。
- バッテリーが完全に充電されれば自動的に充電が終わり、充電表示ランプが消えます。

充電時間：3時間(完全に放電された状態から)  
 再生時間：16時間(完全に充電された状態から)

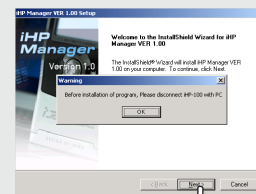
## ソフトウェアのインストール

ソフトウェアのインストールはプレーヤを接続する前に行ってください。Windows ME、Windows 2000およびWindows XPは、H140を自動的にUSBドライバとして認識しますのでiHP Managerをインストールすることなくプレーヤを使用できます。Windows 98 SEの場合は、iHP Managerをインストールすることにより、コンピュータがプレーヤを認識できるようにする必要があります。iHPマネージャをインストールし、データベース機能を使用してください。

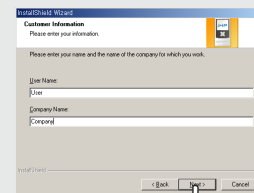
- 1 インストールCDをPCに挿入し、[iHP-100ManagerX.XX.exe] というファイルを見つけてこのファイルを実行してください。インストール画面が表示されます。



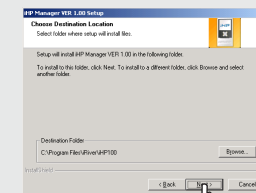
- 2 プレーヤがPCと接続していたら外してください。実行する場合は、「OK」をクリックしてください。



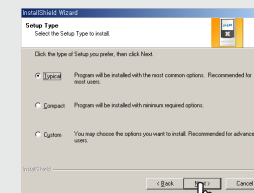
- 3 使用者の情報を入力し、「Next」をクリックしてください。



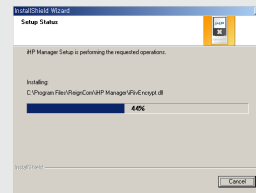
- 4 インストールするフォルダを選択し、「Next」をクリックしてください。



- 5 インストールする項目を選択した後、「Next」をクリックしてください。

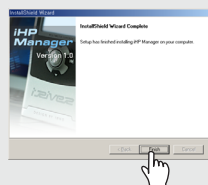


- 6 インストールが実行されます。





- 7 インストールが完了しました。「Finish」をクリックしてください。

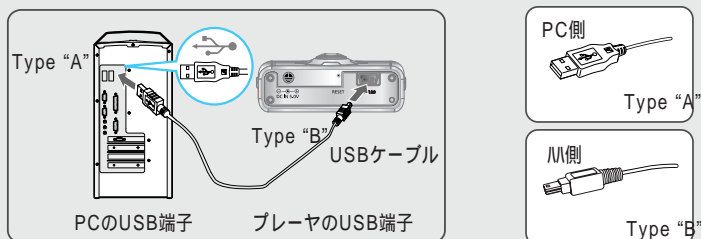


## H140をPCと接続する

- 1 Clickプレーヤの▶▶ ボタンをクリックしてプレーヤを起動してください。



- 2 USBケーブルをプレーヤとホストPCに接続してください。



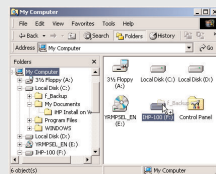
- 3 タスクトレイにアイコンが表示されるのを確認してください。OSによっては、1つのアイコンだけ表示される場合もあります。



### ⚠ 注意事項

Windows 98SEなどのPCで、プレーヤが認識されなければ、12ページを参照し、H140デバイスドライバを設定してください。

- 4 マイコンピュータを開いて新しいドライブが追加されていることを確認してください。この製品が出荷された時と同じ状態であればボリューム名は「iHP-100」です。



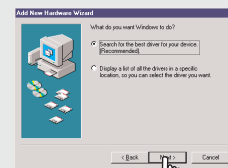
## H140デバイスドライバの設定

H100 Managerソフトウェアをインストールしてからドライバのインストールをしてください。

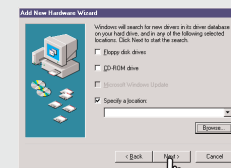
- 1 プレーヤをPCに接続してください。「Add New Hardware Wizard」が表示されます。「Next」をクリックします。



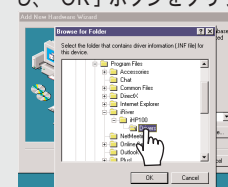
- 2 「ドライブ検索」オプションを選択し、「次へ」をクリックします。



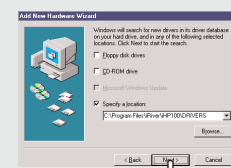
- 3 「検索場所の指定」オプションを選択し「参照」ボタンをクリックします。



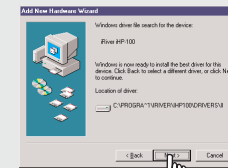
- 4 「iRHP.inf」ファイルがインストールされたフォルダ(C:\Program Files\River\iHP100\drivers)を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- 5 「次へ」ボタンをクリックします。



- 6 「次へ」ボタンをクリックします。



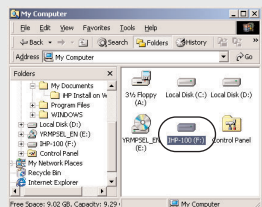
- 7 「完了」をクリックします。デバイスドライバインストールを完了しました。



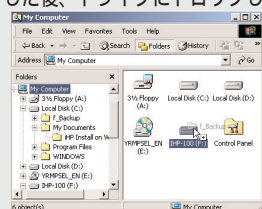
## リムーバブルディスクとしての使用方法

この製品がPCと正常に接続されていなければ10～12ページの設定完了後に行ってください。

- 1 プレーヤがWindows Explorerに新しいドライブとして表示されます。

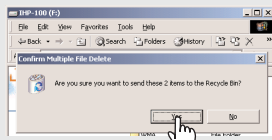
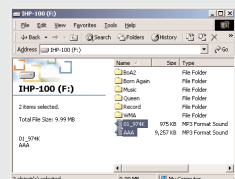


- 2 プレーヤにファイル(フォルダ)をコピーする。PCからコピーするファイルまたはフォルダを選択し、ドラッグした後、ドライブにドロップします。



- 3 プレーヤのファイル(フォルダ)削除

プレーヤに保存されているファイルまたはフォルダを選択した後、「Delete」キーを押し、[ファイル/フォルダの削除の確認]で「はい」をクリックすれば削除されます。



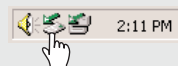
上記のコピー/削除機能だけではなく、PCでハードディスクドライブで利用する全ての機能を、内蔵されているハードディスクドライブと同じようにご使用になれます。

### ⚠ 注意事項

長時間プレーヤをPCに接続しご使用になる時は、必ずACアダプタをご使用ください。データ転送の途中でバッテリーが不足するとデータの転送が正常にされないことがあります。

## H140をPCから取りはずす

- 1 タスクトレイに表示された2つのアイコンのうちの1つを選択してください。(どちらでもかまいません。)



- 2 「iRiver iHP-100-ドライブ(X:)の停止」または「TOSHIBA MK1 - 3 GAL USB Disk - Drive(X:)を完全に取りはずします。」のメッセージをクリックしてください。(X:ディスクドライブ名)



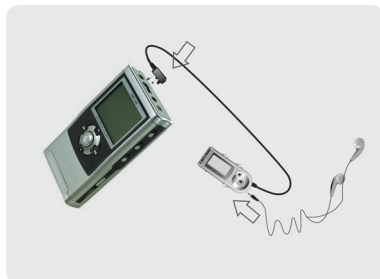
- 3 システムの[ハードウェアの取りはずし]メッセージを確認した後、「OK」ボタンをクリックしてください。



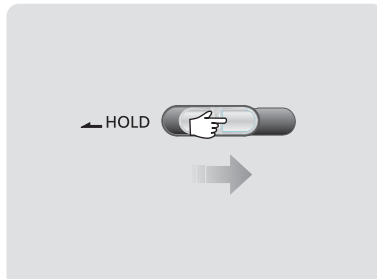
- 4 PCとプレーヤのUSBケーブルを取りはずしてください。



- 1 下図のようにリモコンとイヤフォンを確実に接続してください。



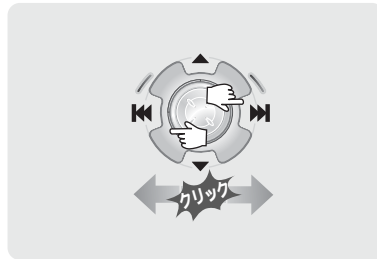
- 2 ホールド(HOLD)スイッチを解除の位置(OFF)にしてください。



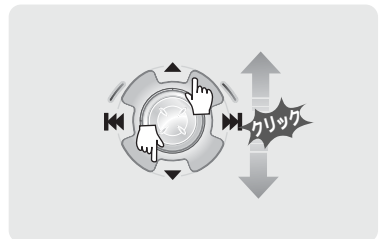
- 3 電源を起動してください。  
再生/一時停止ボタンをクリックすれば電源が起動し、再生が開始されます。



- 4 曲の選択  
9の方向をクリック：前の曲を選択



- 5 音量調節  
(+)の方向をクリック：音量を大きくする  
(-)の方向をクリック：音量を小さくする



#### 参考

- ホールド(HOLD)スイッチがホールド(ON)の位置にある時は全てのボタンの操作を行えません。
- プレーヤが停止すると、オートパワーオフ設定に基づき自動的に電源が切れます。(44ページ参照)

- 電源を起動する



- 再生/一時停止する



- 停止する



- 次の曲を再生する



- 電源を切る



- 音楽ファイルの再生 FM切り換え



- 早送りする



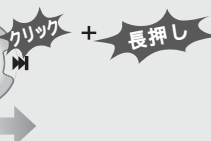
- 巻き戻しする



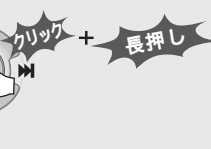
- 前の曲を再生する



- 次のフォルダを再生する



- 前のフォルダを再生する

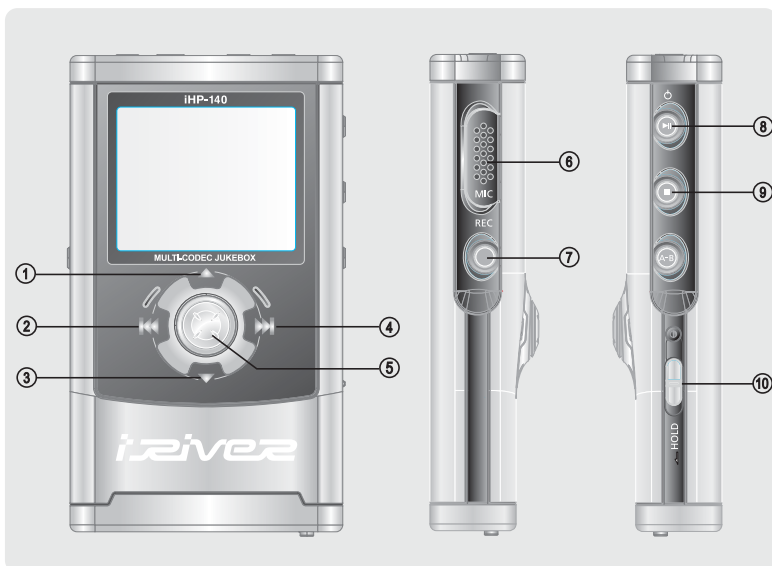


#### Tip

再生するファイルの種類により、次のように表示されます。

MP3	MP3の場合	WMA	WMAの場合
OGG	OGGの場合	WAV	WAVの場合
ASF	ASFの場合		





● Navigationご使用の際



1. 音量を大きくします。
2. 音楽ファイルを再生する場合は前の曲を、FMを聞いている時は前の放送を選択します。
3. 音量を小さくします。
4. 音楽ファイルを再生する場合は次の曲を、FMを聞いている時は次の放送を選択します。
5. ナビゲーションまたはメニュー (NAVI/MENU) を選択します。
6. 内蔵マイク
7. 録音待機状態に切り替えるか、録音を開始します。
8. 電源の起動、再生及び一時停止、HDD FMを切り替えます。
9. 停止、録音停止及び電源を切ります。
10. 本体のボタン操作をホールドするか (HOLD ON) 解除 (HOLD OFF) します。

● Menuご使用の際



基本操作



音量の調節

VOLUME調節の際、NAVI/MENUボタンを上/下にクリックしてください。



ファイル再生 FM



FM受信MODE変更 (31ページ参照)

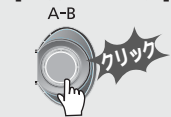


録音の際

[ 録音待機 ]



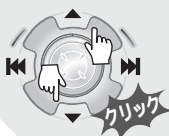
[ 録音ソース選択 ]



[ 録音開始 ]



[ ビットレート選択 ]



[ ファイルタイプ選択 ]



[ 録音終了/待機 ]

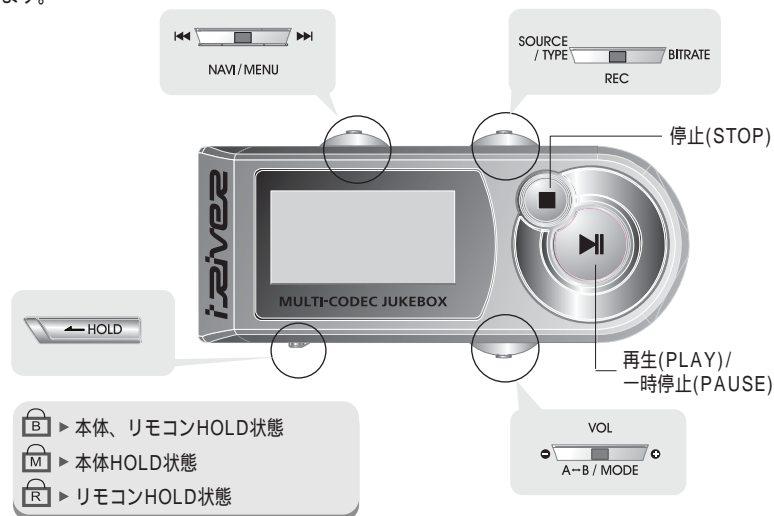


ナビゲーション機能

NAVI/MENUボタンをクリックした後、 (+)または (-)方向、9または 方向にクリックし、NAVI/MENUボタンをクリックしてお望みの曲を選択し、再生することができます。

ナビゲーションにはID3タグ情報を利用したナビゲーションと音楽ファイルのパス/ファイル名を利用したナビゲーションがあります。

リモコンには3つのジョグレバーと3つのボタンがあり、全ての機能を簡単にご使用になれます。



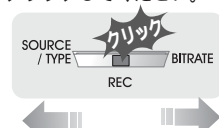
## 基本作動機能



- 次の曲を聞きたい時は、方向にクリックしてください。



- 前の曲を聞きたい時は、方向にクリックしてください。



前のフォルダを聞きたい時

次のフォルダを聞きたいとき

- メニュー機能



## ナビゲーション機能

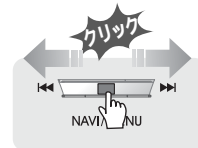
NAVI/MENUレバーをクリックした後、方向にクリックし、曲を選び、NAVI/MENUレバーをもう一度クリックすると曲が再生されます。

上位フォルダに移動する時は、方向ボタンをクリックするか、NAVI/MENUボタンを長押ししてください。上位フォルダがない場合はナビゲーションを終了します。

## メニュー機能

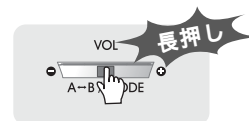
NAVI/MENUレバーを長押しするとメニュー設定が行えます。

- (1) メニュー間を移動：方向にクリック
- (2) 機能の選択：NAVI/MENUレバーをクリック
- (3) もとに戻る：方向ボタンをクリックしてください。

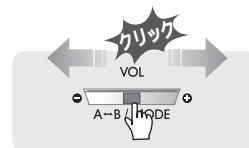


## 再生モード

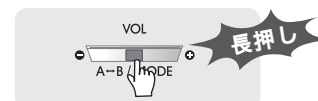
音楽ファイルを再生する時、A-B/MODEレバーを長押しすると、メニューで設定した再生モードを順番に選択することができます。



- 音量調節の時



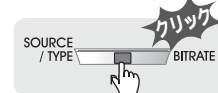
- 再生モード変更



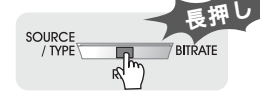
- MP3 FMモード



- EQ/SRSの変更



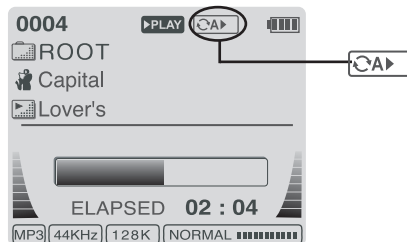
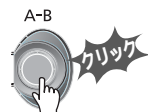
- 録音スタンバイ



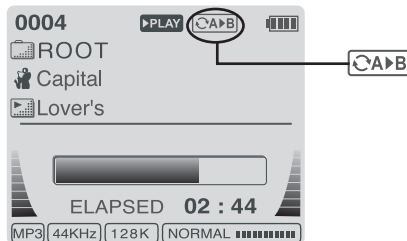
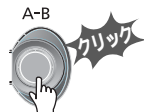
## A-B区間リピート

曲の再生中選択された区間を繰り返し聞きたい時使用します。

A-Bボタンを一度クリックし、繰り返しの開始点(A地点)を選択します。



A-Bボタンをもう一度クリックし、繰り返しの終了点(B地点)を選択します。



選択したA-B区間を繰り返し再生します。

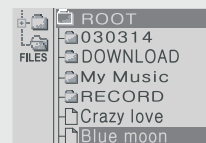
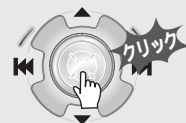
再度A-Bボタンをクリックすると解除されます。

ナビゲーション機能は、MP3ファイルに含まれる音楽情報(ID3タグ情報)及びファイル名を利用して、プレーヤに入っている多くのファイルのうち、好みの曲を簡単に選択し再生することのできる機能です。

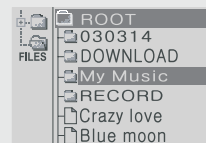
もし、音楽情報(DB)ファイル(irivnavi.idb)が損傷するか削除された場合、ファイルツリー情報を利用したナビゲーション機能として動作します。

### 1. ファイルツリーを利用したナビゲーション動作 (DBファイルの詳細については、25ページを参照してください)

- 1 NAVI/MENUボタンをクリックすると、現在再生中の曲が選択された状態で、ファイルリストが表示されます。



- 2 NAVI/MENUボタンを または の方向にクリックし、再生する曲ないしフォルダを選択します。



- 3 NAVI/MENUボタンをクリックすると、選択した曲を再生するか、選択したフォルダの内容を表示します。



フォルダを選択した場合、2～3を繰り返し、好みの曲を選択し再生してください。

NAVI/MENUボタンを9方向にクリックすると上位フォルダまたは前の状態に戻ります。

## 2. 音楽情報を利用したナビゲーション

アーティスト/アルバム/ジャンルおよびタイトルを基準にしてナビゲーションを行いたい時は、ファームウェアメニューのDB SCANオプションを「YES」に設定する必要があります。(42ページを参照してください。)

1 NAVI/MENUボタンをクリックするとナビゲーション選択画面が表示されます。



2 NAVI/MENUボタンを9または3の方向にクリックし、お好みのナビゲーションを選択します。



アーティスト別  
検索



アルバム別  
検索



ジャンル別  
検索



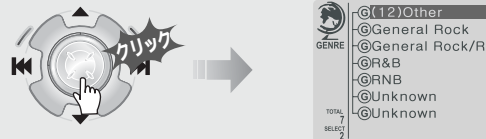
タイトル別  
検索



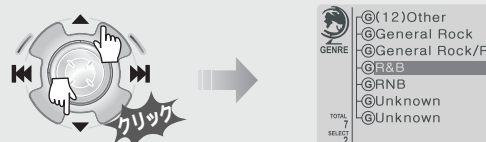
ファイル別  
検索



3 NAVI/MENUボタンをクリックすると、選択したナビゲーションの詳細が表示されます。



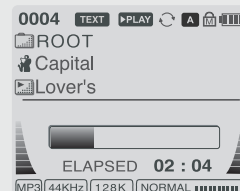
4 NAVI/MENUボタンを、 の方向にクリックし、お好みの検索条件を選択します。



5 NAVI/MENUボタンをクリックすると、選択した検索条件の詳細が表示されます。



もし選択した項目がそれ以上の条件がない状態であれば、選択した曲がそのまま再生されます。



「Select All」の項目を選択した場合には、その選択した条件に該当する全ての曲を繰り返し再生します。

停止ボタンをクリックすると再生が停止し、もう一度停止ボタンをクリックすると繰り返し再生モードが解除されます。

検索がさらにあれば、4～5を繰り返します。

詳細項目で前の画面に戻るには9の方向にクリックしてください。

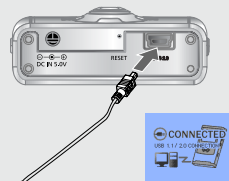
## 音楽情報(DB)アップデート

DBとはお手元のH140プレーヤ上の音楽のデータベースのことです。このデータベースには、MP3ファイルのIDタグで表示される、アーティスト、アルバム、曲目およびジャンルに関する情報の索引が含まれています。

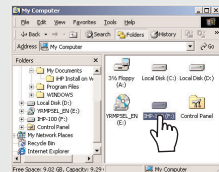
初めてH140プレーヤをロードする時は、その後で次のステップを実行する必要があります。DBファイルが破損したり、過って削除されたりした場合も同じステップを実行してDBファイルを作成しなおすことが可能です。

曲をプレーヤから削除した時は、DBをアップデートして、アーティスト、アルバム、ジャンルおよびタイトルを常に正確な情報にしておく必要があります。

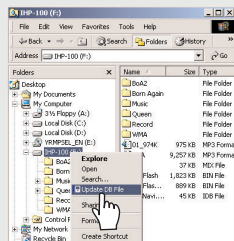
- 1 PCにプレーヤを接続してください。  
(「H140をPCと接続する」11ページ参照)



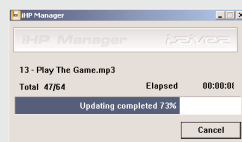
- 2 マイコンピュータを開き、H100のドライブを選択してください。



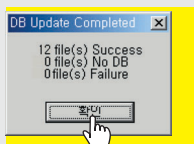
- 3 ドライブを右クリックします。



- 4 「Update DB File」を選択すればDB File updateが実行されます。新しい曲を追加した場合は、DBをアップデートするが、次ページの手順に従ってその曲目をDBに追加する必要があります。



- 5 アップデートが完了したら「OK」をクリックします。



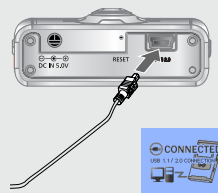
- 6 プレーヤをPCからはずした後、(「H140をPCから取りはずす」14ページ参照)ID3タグ情報を利用したナビゲーション機能を活用することができます。



## 音楽情報(DB)ファイルを追加する

H140に曲を追加するだけで、ファイルの削除はいっさい行わない場合は、DBファイル全体をアップデートせずに、必要なファイルをDBに追加することで時間を節約できます。

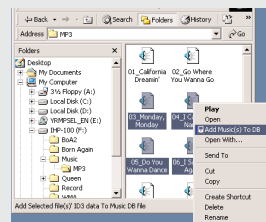
- 1 PCにプレーヤを接続してください。  
(「H140をPCと接続する」11ページ参照)



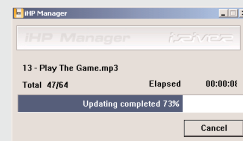
- 2 マイコンピュータを開き、H100のドライブを選択してください。



- 3 DBに追加するMP3ファイル(複数またはフォルダ(複数))を選択した状態でマウスを右クリックします。



- 4 「Add Music(s) to DB」を選択すればDBへの追加が実行されます。



- 5 DBファイルに選択されたファイル(複数のID3タグ情報)が追加されます。もしDBファイル(iRivNavi.iDB)がなければ、新たに作成されます。

- 6 プレーヤをPCからはずした後、(「H140をPCから取りはずす」14ページ参照)追加した曲をID3で検索することができます。

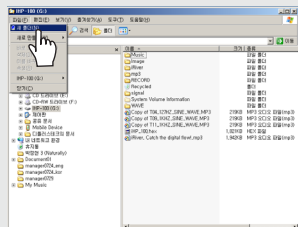




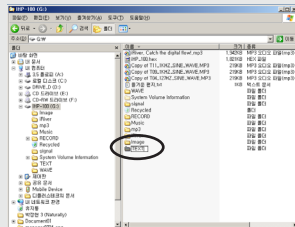
## テキストファイルの作成

「TEXT」フォルダを作成し、.TXTファイルをこのフォルダにコピーすることで、H140プレーヤーのテキストファイルを読み取ることができます。

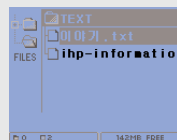
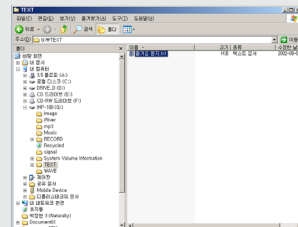
- 1 Windows Explorer上でROOTフォルダの下に新規フォルダを作成します。



- 2 Windows Explorer上で、フォルダの名前として「TEXT」と入力します。



- 3 PC上の \*\*\*.txt ファイルをプレーヤーにコピーします。



### 参考

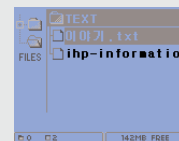
- 表示画面上には横に19文字(日本語9文字、半角19文字)、縦に8行を表示できます。
- テキストはリモコンでは表示できません。
- テキストファイルの読み取り中は、リモコンのボタンでのみ操作できます。
- テキストファイルをプレーヤーから直接削除することができません。プレーヤーをPCに接続し、Windows Explorerを使ってファイルを削除する必要があります。

## テキストファイルを読む

- 1 NAVI/MENUボタンをクリックして「NAVI」モードにするか、音楽情報を使ったナビゲーションで、5番目のアイコン「ファイル別検索」を選択します。



- 2 NAVI/MENUボタンを9、または、の方向をクリックして「TEXT」フォルダ内にあるテキストファイルを選択します。



- 3 NAVI/MENUボタンをクリックします。



- 4 テキストファイルがLCDに表示されます。

The iFP-395T combines unique iRiver styling with an impressive list of features: 512MB of internal memory, an integrated FM tuner, voice and FM

- 5 RECボタンをクリックしてディスプレイを現在の曲目情報に切り替えます。もう一度RECボタンをクリックしてテキストファイルに戻ります。



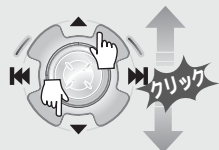
- 6 停止ボタンをクリックしてテキストファイルから抜け出し、曲目表示画面に戻ります。



## テキストファイルの検索

### 1. テキストファイルの検索 (全般)

1 テキストファイル表示中に または をクリックして次の行に移動します。



The remarkably small and lightweight iHP-100 plays over 300 hours of digital music. Within the sleek magnesium body lies a rechargeable battery



and lightweight iHP-100 plays over 300 hours of digital music. Within the sleek magnesium body lies a rechargeable battery that delivers up to 16

2 テキストファイル表示中に 9 または をクリックして次のページに移動します。



The remarkably small and lightweight iHP-100 plays over 300 hours of digital music. Within the sleek magnesium body lies a rechargeable battery



hours of digital music. Within the sleek magnesium body lies a rechargeable battery that delivers up to 16 hours of life, a built-in FM tuner, an ultra-

### 2. 特定ポジションへの移動(大きなファイルの場合に有効)

1 NAVI/MENUボタンをクリックしてテキスト内の特定のポジションに移動します。



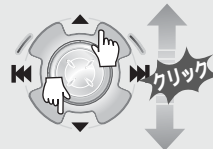
The remarkably small  
GO TO  
0155  
KBytes  
0142/0216  
rechargeable battery

2 9、 をクリックして移動したいポジションの桁を選択します。



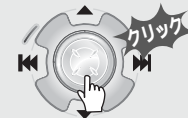
The remarkably small  
GO TO  
0155  
KBytes  
0142/0216  
rechargeable battery

3 9、 をクリックして移動したいポジションの数字を選択します。



The remarkably small  
GO TO  
0216  
KBytes  
0142/0216  
rechargeable battery

4 NAVI/MENUボタンをクリックして選択したポジションに移動します。



Within the sleek magnesium body lies a rechargeable battery that delivers up to 16 hours of life, a built-in FM tuner, an ultra-fast USB 2.0 connection and an

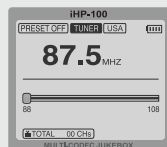
**参考** 表示された数はテキストファイルのサイズ(キロバイト単位)および位置(キロバイト単位)です。

## FMラジオを聞く

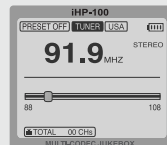
- 音楽ファイル再生状態でPLAY/PAUSEボタンを長押ししてください。



FMラジオ画面が表示されます。4



- NAVI/MENUの方向にクリックし、お聞きになりたい放送局を選択してください。



- ステレオ/モノラルを切り替えるにはSTEREO/PLAY/PAUSEボタンをクリックしてください。



## 周波数を選ぶ

- 1 周波数を変更するには9またはの方向にクリックしてください。

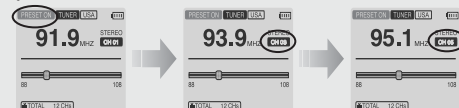


- 2 自動スキャン機能：チャンネルを自動検索するときにはNAVI/MENUボタンをクリックしてPRESETを解除し、9またはの方向に長押しします。

PRESET解除時



- 3 PRESET機能：メモリされたチャンネルを選択したい場合、NAVI/MENUボタンをクリックした後、9またはの方向にクリックし、お好みのチャンネルをお選びください。



## チャンネルの保存(MEMORY)

- 1 9またはの方向にクリックまたは長押しして、お好みの放送を選択します。



9またはの方向に  
クリックし、お好み  
のチャンネル番号を  
選択



CH02で選択

もう一度  
保存完了



ボタンをク  
リックすれば保存さ  
れずMEMORY設定  
を中止します。

- 3 チャンネルはCH1から20まで保存できます。

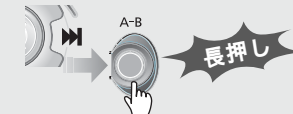
## 自動メモリ機能(AUTO MEMORY)

自動的に放送局を探し、順番に指定し保存する機能です。

- 1 NAVI/MENUボタンをクリックしPRESETを解除します。



- 2 A-B/MODEボタンを長押ししてください。



- 4 受信感が弱い地域では自動メモリ機能が正常に動作しない場合があります。

## 保存されたチャンネルの削除

- 1 PRESET状態で削除するチャンネルを選択します。
- 2 MEMORYボタンを長押しします。



- 上図のようにCH02を削除すると次のチャンネルが表示されます。次のチャンネルも削除する場合、もう一度MEMORYボタンを長押しします。

- 4 受信感度の弱い地域では一部の放送の受信状態が悪くなることがあります。
- 4 PRESET状態では自動スキャン及び自動メモリ機能が作動しません。
- 4 保存されたチャンネルがない場合は、EMPTYと言う文字が表示されます。

## 外部音響ソースとの接続方法

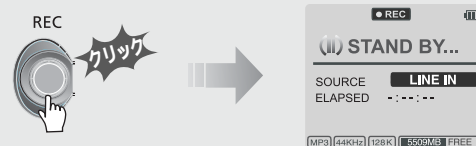
図のようにステレオケーブルを、外部機器のLINE OUT端子またはHeadphone端子とプレーヤのLINE端子に接続してください。

外部機器がOptical Out(光出力)をサポートしている場合光ケーブルを外部機器のOptical Out(光出力)とプレーヤのOptical In(光入力)端子に接続してもかまいません。プレーヤのLine In/Out端子は、Optical In/Out機能を兼ねています。外部マイクを使って録音する時は、そのマイクをLine-in端子に接続します。

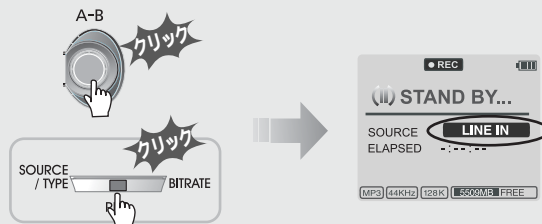


## 録音の方法

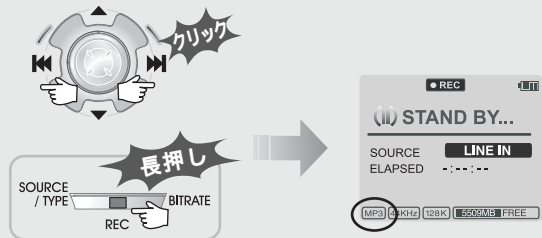
- 1 録音(REC)ボタンをクリックすると録音待機画面が表示されます。



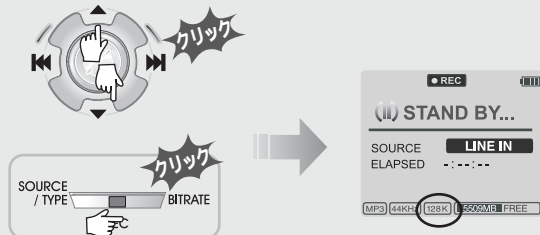
- 2 A-B/MODEボタンを押すか、リモコンのRECレバーをSOURCE/TYPE方向にクリックして、下図のように録音する音源を選択します。
  - 内蔵マイクで音声録音：INT.MIC
  - 外部マイクで音声録音：EXT.MIC
  - 外部音響機器からのデジタル光信号録音：OPTICAL
  - 外部音響機器からのアナログ信号録音：LINE-IN



- 3 この時、NAVI/MENUボタンを9または30方向にクリックするかリモコンのRECレバーをSOURCE/TYPEの方向に長押しすると、録音する際使用するファイルの形式を選択できます。



- 4 NAVI/MENUボタンを または の方向にクリックするか、リモコンのRECレバーをBITRATE方向にクリックすると、録音の音質(ビットレート)を選択することができます。



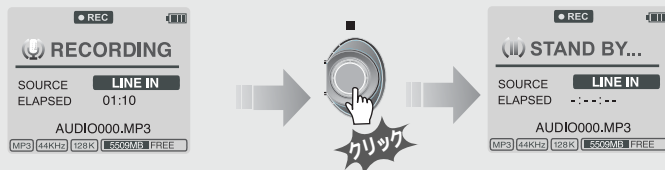
48 KHzの光信号をWAVファイルとして保存する時は、Bitrateを1536Kbps(48 HKz、16ビット、ステレオ)にします。

- 5 録音(REC)ボタンをクリックし、録音を開始します。もし、外部音響機器から録音する場合には、先に録音を開始してから外部機器の再生を開始してください。



**参考** 録音中には音量調節ができません。

- 6 録音中に (STOP/PWR OFF)をクリックすると録音が終了し、録音待機状態となります。録音待機状態でRECボタンをもう一度クリックすれば、新しいファイルに録音が始まります。



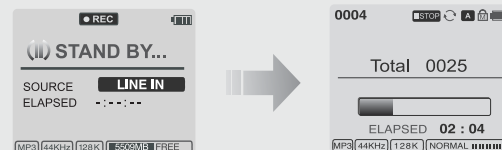
## 録音の一時停止

録音中にRECボタンをクリックすると録音が一時停止します。また、もう一度RECボタンをクリックすると録音が開始されます。



## 録音を終了するには

録音待機中に▶IIを長押しすると録音をする前の状態に戻ります。



録音されたファイルは音源により下記のパスとファイル名で保存されます。

- Line In/Optical In : ROOT\RECORD\AUDIO\AUDIOXXX.MP3(WAV)
- INT/EXT Mic : ROOT\RECORD\VOICE\VOICEXXX.MP3(WAV)

次のような条件では録音が自動的に停止します。

- プレーヤのメモリに十分な空き容量がない場合
- 録音されたMP3ファイルの大きさが195MBを超過する場合
- 録音されたWAVファイルの大きさが795MBを超過する場合
- 録音時間が5時間を超過する場合
- バッテリーが足りない場合
- 光録音中にサンプリングレートを変更した場合

### 注意事項

光録音での許容サンプリングレートは44.1KHzか48KHzのいずれかです。録音サンプリングレートは光出力装置の再生サンプリングレートと一致させる必要があります。

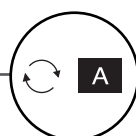
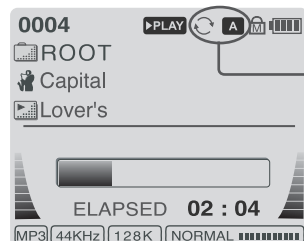
プレーヤがStandbyモードの時はオートパワーオフ設定に基づき自動的に電源が切れます。(44ページ参照)

## 録音されたファイルを再生するには

録音待機状態で▶II ボタンをクリックすると録音されたファイルを再生します。



A-B/MODEボタンを長押しすると下記のようなREPEAT、SHUFFLE、あるいはINTRO機能をご利用になれます。この機能の詳細設定方法はメニュー設定(45ページ)をご参照ください。



3 A-B/MODEボタンを長押しするたびに左側の再生モード表示アイコンが表示され、選択されます。

### リピート

🔄 1	1つのトラックをリピート再生します。
D	フォルダの中のすべてのトラックを再生して停止します。
🔄 D	フォルダの中のすべてのトラックをリピート再生します。
🔄 A	プレーヤの中のすべてのトラックをリピート再生します。

### シャフル

SFL	プレーヤの中のすべてのトラックをランダム再生し停止します。
SFL 1	1つのトラックをリピート再生します。
SFL D	フォルダの中のすべてのトラックをランダム再生して停止します。
SFL DA	フォルダの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。
SFL A	プレーヤの中のすべてのトラックをランダムにリピート再生します。

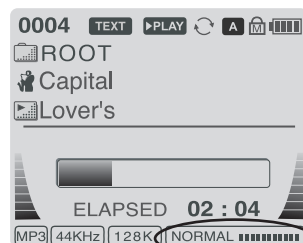
### イントロ

INTRO	イントロ : 各トラックの最初の10秒を順番に再生します。 イントロハイライト : 各トラックの1分から10秒間を順番に再生します。「メニュー」でこの機能を設定できます。
-------	--

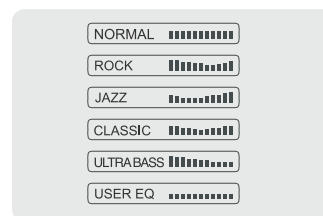
## EQ / SRS

録音(REC)ボタンを押すたびにEQは以下の順序に変わります。  
Normal Rock Jazz Classic Ubass User EQ SRS TruBass  
WOW(Preset) WOW(User)

メニュー設定のSound - EQ項目でEQ機能を設定することができます。45ページを参照してください。



### EQ

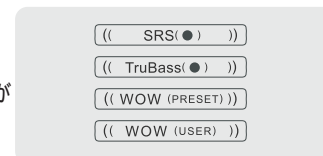


- EQ (SRSオフ) : SRSが非活動化され、ユーザーが設定したEQが作動します。  
(Normal、Rock、Jazz、Classic、UBass、User EQ)

### SRS

#### 1) SRSの選択

- SRS( ) : SRSで動作します。
- TruBass : TruBassで動作します。
- WOW (Preset) : WOW (Preset) が SRS +TruBass +Focusの設定にしたがってWOW動作します。
- WOW (User) : メニュー上のSRS Settingsでユーザーが調節したSRS +TruBass +Focusの設定として動作します。



#### 2) SRSの設定(デフォルト値は5、7、High、60Hz)

- SRS( ) : SRSレンジは1～10に設定可能。
- TruBass : TruBassレンジは1～10に設定可能
- Focus : 音響の微調整が可能(Low、High)
- Boost : 使用するイヤフォンまたはBassに応じてBassを設定可能(40、60、100、150、200、250、300、400Hz)

\* SRS( )はSRS Labs社の商標です。

#### SRS( )とは?

SRS-WOWはSRS Lab社の開発による、シミュレートされた3Dサラウンド音響で、SRS、TruBass、FocusおよびWOWで構成されます。



## メニュー設定



設定項目はファームウェアバージョンによって異なる場合があります。お客様のお好みにより環境を設定することができます。

### General

- Beep Volume
- Resume
- Fade In
- Language
- Tuner Region
- Load Default
- Firmware Upgrade
- DB Scan

### Display

- Back Light (Battery)
- Back Light (Adapter)
- LCD Contrast(Main)
- LCD Contrast(Remote)
- Tag Information
- Time

### Timer

- Sleep Timer
- Stop Power Off

### Control

- Scan Speed
- Scroll Type
- Optical Out
- Fast Skip

### Mode

- Repeat
- Shuffle
- Intro

### Sound

- Sound Balance
- EQ
- Bass Boost
- Treble Boost
- SRS ( )
- SRS Settings

### Record

- Record Type
- Bitrate
- AGC
- Voice Monitor
- EXT.MIC Volume

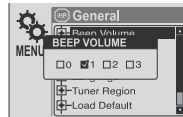
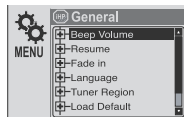
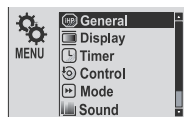
## メニュー設定時の操作方法

- NAVI/MENUボタンを長押しするとメニュー設定画面が表示されます。この7つのメインメニューは、各々のサブメニューで構成されています。

メインメニュー

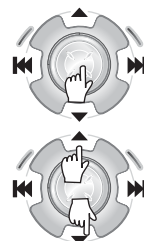
サブメニュー

設定項目

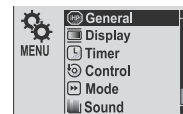


- サブメニューを選択すれば、該当項目の機能を使用環境によって設定または調節することのできる設定項目画面が表示されます。

## メニュー間の移動



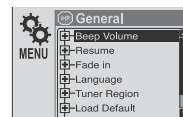
音楽ファイル再生/停止、FMラジオ録音待機状態でNAVI/MENUボタンを長押しするとメインメニュー画面が表示されます。この画面でVolume、 の方向にクリックし、メニュー項目を選択した後、NAVI/MENUボタンをクリックすると選択したメニューのサブメニューが表示されます。



## 設定項目へ移動



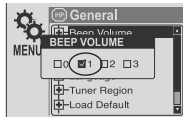
、 の方向にクリックしてサブメニューを選択し、NAVI/MENUボタンをクリックすると選択したサブメニューの設定項目が表示されます。



## 項目設定



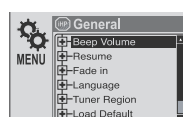
9、 の方向または、 の方向にクリックし、設定値を選択し、NAVI/MENUボタンをクリックし、選択した設定値で保存します。



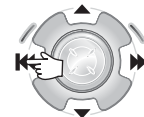
## サブメニューから抜けるには



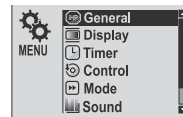
サブメニューで9の方向にクリックすればメインメニューが表示されます。



## メインメニューから抜けるには



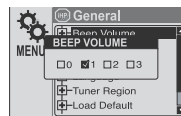
メインメニューで9の方向に押せば、メニュー設定が終了し、以前の再生、またはラジオを聞いていた画面が表示されます。



## GENERAL(全般)

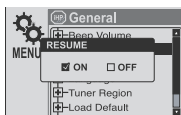
### BEEP VOLUME

ビープ音を4段階(0/1/2/3)で設定可能です。



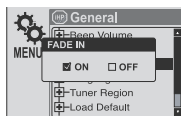
### RESUME

設定された状態(ON)では、電源を切って再び起動した際、最後に再生した位置から再び再生します。



### FADE IN

ONに設定すると再生開始時、音量が段々大きくなります。起動時突然大きな音量で再生するのを防止できます。



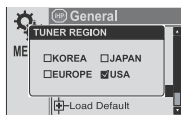
### LANGUAGE(38言語をサポート)

MP3ファイルの曲名とID3タグ情報は作成に使用したPCのOSバージョンに依存します。(たとえば、MP3ファイルをWindowsの日本語バージョンで作成すると、曲名を正しく表示するためには言語の設定は日本語JAPANESEとしなければなりません。)



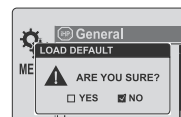
### TUNER REGION

FMラジオ周波数及びステップを地域によって選択することができます。使用する地域に合わせて設定しなければ、正常な放送を聞くことができません。本項目の設定が変更されると、メモリされたチャンネルは全て削除されます。



### LOAD DEFAULT VALUE

メニュー設定を工場出荷時の状態に初期化します。



### FIRMWARE UPGRADE

プレーヤのファームウェアをアップグレードします。詳しい内容は50ページを参照してください。



### DB SCAN

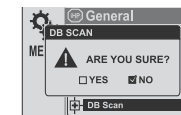
プレーヤに保存された音楽ファイルの音楽情報(ID3タグ)を活用した、ナビゲーション機能を有効/無効にします。



YESを選択すると、プレーヤは数秒間を置いてから起動し、DBファイルをスキャンします。このスキャンはアーティスト、アルバム、ジャンルおよびタイトルの検索が可能です。

注意：アーティスト、アルバム、ジャンルおよびタイトルの検索を起動するには、DBファイルをH140上に作成する必要があります。

NOを選択すると、H140はもっと速やかに起動しますが、この場合はFile/Folderナビゲーション機能は使用できません。

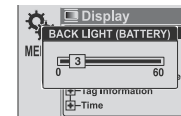


## DISPLAY(表示設定)

### BACK LIGHT (Battery)

バッテリーで動作する時、バックライトが点灯する時間を設定します。

(時間は1～60秒の範囲で設定できます。)

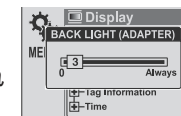


### BACK LIGHT (Adapter)

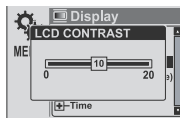
本体にACアダプタを接続し、作動させる時、バックライトが点灯する時間を設定します。OFF/3秒/5秒/10秒/Alwaysから選択することができます。Alwaysを選択すれば、常に点灯しています。

(時間は1～59秒の範囲で設定できます。)

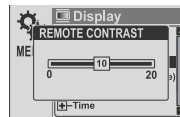
60秒を選択すると、バックライトが点灯したままの状態になります。



LCD CONTRAST (Main)  
プレーヤのLCDのコントラストを調節できます。



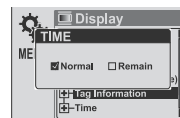
LCD CONTRAST (Remote)  
リモコンのLCDのコントラストを調節できます。



TAG INFORMATION  
オン：ID3タグ情報でトラックを表示します。  
オフ：ファイル名でトラックを表示します。



TIME  
NORMAL：経過時間を表示します。  
REMAIN：残り時間を表示します。  
注意：トラックフォーマットがVBR(可変ビットレート)のとき時間が正確に表示されないことがあります。



## TIMER(自動電源オフの設定)

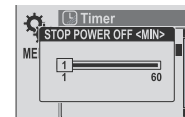
### SLEEP POWER OFF

設定時間後に自動的に電源をオフにします。  
範囲は0から99分まで1分ごとに設定できます。  
9や 0のボタンを使って時間を設定します。  
NAVI/MENUボタンをクリックして警告音オン/オフを設定します。  
電源がオフになると設定はゼロに戻ります。



### STOP POWER OFF

停止モードで自動的に電源がオフになる時間を設定します。範囲は0から60分まで1分ごとに設定できます。9や 0のボタンを使って時間を設定します。



## CONTROL(機能設定)

### SCAN SPEED

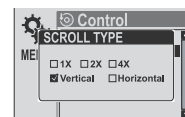
OFF/1倍/2倍/4倍の範囲でスキャン速度を設定可能です。



### SCROLL TYPE

タグのスクロール速度を1倍/2倍/4倍/垂直/水平に調整できます。

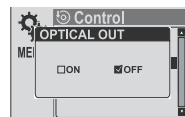
- Vertical(垂直)：上下にスクロールします。
- Horizontal(水平)：左から右にスクロールします。



### OPTICAL OUT

ON：次の曲から光出力が開始されます。

**警告**：光源を直接目で見ないでください。



### FAST SKIP

OFF：スキップ機能OFF。  
10：10番前または10番後の曲目が再生されます。  
Directory：前または次のフォルダにジャンプします。  
9または 0ボタンをこの設定に使用できます。



## MODE(再生モード)

### REPEAT MODE / SHUFFLE MODE

数種類のREPEATモードとSHUFFLEモードが利用可能です。NAVI/MENUボタンをクリックして、目的のモードを選択してください。  
各モードに関する詳しい説明は37ページを参照してください。



### INTRO MODE

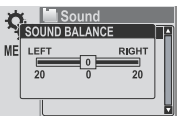
INTRO ON : 各トラックの最初の10秒間を再生します。  
INTRO HIGHLIGHT : 各トラックごとにスポット1分から10秒間を順番に再生します。



## SOUND(音響設定)

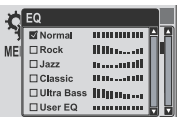
### SOUND BALANCE

ヘッドフォンの左右の出力レベルを調節することができます。L(Left, 20)に調節すれば左側のチャンネルの音が大きくなり、R(Right, 20)に調節すれば右側のチャンネルの音が大きくなります。  
基本設定は0になっており、左右のチャンネルが同じレベルで出力されます。



### EQ

6種類のEQを設定することができます。  
適用されるEQは次のようになります。  
Normal Rock Jazz Classic Ultra Bass  
User EQ



### BASS BOOST

低音設定は0～24dBまで2dBずつ設定することができます。



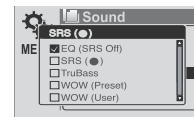
### TREBLE BOOST

高音設定は0～6dBまで2dBずつ設定することができます。



### SRS

EQまたは4モードのサラウンド音響が楽しめます。  
EQ (SRS OFF) SRS TruBass WOW  
(Preset) WOW (User)



### SRS設定

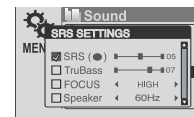
音響レベルを設定して様々なサラウンド音響を楽しむことができます。

SRS : 1～10

TruBass : 1～10

Focus : Low, High

Boost : 40Hz/60Hz/100Hz/150Hz/200Hz/  
250Hz/300Hz/400Hz



### 参考

USER EQを調節するには、BASS BOOSTとTREBLE BOOSTを設定します。  
BASS BOOSTとTREBLE BOOSTを設定するとEQは自動的にUSER EQに設定されます。

## REC(録音設定)

### RECORD TYPE

録音する時、録音しようとするフォーマットを設定します。MP3、WAVの2種類から選択し、録音ができます。

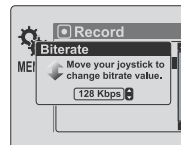
録音待機状態で9または10の方向にクリックして設定することもできます。



### BIT RATE

録音をする時、録音するビットレートを設定します。ビットレートを上げて録音すると高音質の録音ができ、低めれば音質が低下します。録音の品質を高くすればする程大きなファイルが作成され、プレーヤでそれだけ多くのスペースを必要とします。ビットレートは40kbps～320kbpsまで設定できます。

録音待機状態で9または10の方向にクリックして設定することもできます。



### AGC

ON：ボイスレコーディング時に、録音レベルが自動的に制御されて、遠く離れた場所からの音が正常に録音されます。ただし、録音した音の品質はOFFモード時より低下することがあります。

OFF：AGCコントロール機能を無効にします。

AGC機能は音声録音に対してのみ有効です。



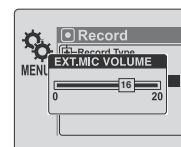
### VOICE MONITOR

録音中の音響をヘッドホンでリアルタイムに聞くことができます。



### EXT. MIC Volume

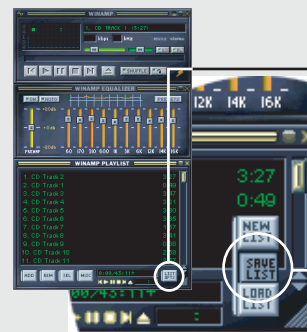
外部マイクを使って録音した音響レベルをコントロールできます。



## WINAMP PLAYLISTの使用方法

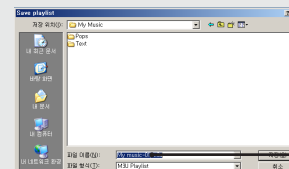
- 1 WINAMPを利用してPLAYLIST (\*.M3U)を作成します。  
注意：WINAMPソフトウェアはプレーヤには含まれていません。

### WINAMP実行図



### SAVE LISTボタンのクリック

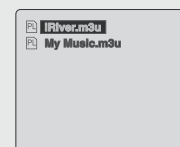
1. WINAMPを立ち上げ、曲目を追加してリストを作成します。
2. 右下にある「LIST OPTS」をクリックしてから、「SAVE LIST」をクリックします。




3. ファイル名(例：iriver.m3u)を付け、「SAVE」をクリックしてリストを保存します。

- 2 プレイリストに追加されるファイルを\*.M3Uと一緒にプレーヤに保存します。

- 3 停止モードでA-B/MODEボタンをクリックすると、LCDにプレーヤ上のM3Uプレイリストファイルが表示されます。  
9または10ボタンを使えば、再生したいプレイリストを見つけることができます。



4

NAVI/MENUボタンまたは  ボタンをクリックして、プレイリストの順序でトラックを再生します。

PLアイコンはPLAYLISTを表します。4



**参考** 合計200のプレイリストを編成できます。



#### ● 予約機能

再生中にNAVI/MENUボタンをクリックすると、次に再生したい曲目が選択され、次いでA-B/MODEボタンをクリックすると、その曲目がキューに入れます。

再生中にNAVI/MENU  
ボタンをクリック



次に再生したい曲目  
を選択してから、



## Firmware Upgradable

アイリバーのホームページから最新のファームウェアをダウンロードしてファームウェアのアップグレードをしてください。

ファームウェアとはH140を制御するプログラムのことを言います。

ファームウェアのアップグレードによりプレーヤの最新機能が利用可能です。  
www.iRiver.co.jpにアクセスして最新のファームウェアを確認してください。

### アップグレードの方法

1. 最新ファームウェアをダウンロードします。
2. ファイルを解凍し、ファームウェアファイルをプレーヤのRootに保存します。
3. ACアダプタをプレーヤに接続します。  
(注意：必ずACアダプタを接続してファームウェアをアップグレードしてください。)
4. MENU General Firmware Upgradeメニューに入ります。
5. 警告画面で「YES」を選択し、NAVI/MENUボタンをクリックします。
6. LCDが図の表示になります。
7. アップグレードが終わるまで絶対にACアダプタをプレーヤから取りはずしたり、電源を切らないでください。アップグレードが終わり、自動的に電源が切れたことを確認した後、電源をもう一度起動してアップグレードされた機能を確認してください。



### ホームページ

- URL : <http://www.iRiver.co.jp>
- 当社及び製品に関する情報を得ることができます。またお客様の各種問い合わせにもお答えいたします。
- 当社製品の特徴としてファームウェア(システム・ソフトウェア)のアップグレードにより、製品の性能を引き続き向上させることができます。
- 初心者向けのガイドだけでなく「よくある質問FAQ」をご覧になれます。
- 本説明書に記載された内容は製品の機能向上や仕様の変更により事前に予告なく変更することがあります。



ファイル拡張子がMP3、OGG、WMA、ASF、WAVである場合に限り再生されます。

各フォルダ内のファイルはアルファベット順に整列され、整列された順序通りに番号が指定されます。ナビゲーション機能を利用し、手軽にお望みの曲を検索できます。

H140は最高で2000のフォルダおよび9999のファイルを編成できます。

再生の際、表示される曲の情報はファイル名またはID3タグにある情報です。

本製品はハードディスクを内蔵しているので、物理的な衝撃などにより不良セクター(Bad Sector)が生じる場合、動作に異常をきたす場合があります。Windows OSのスキャンディスクなどの機能を利用すれば改善できる場合があります。

## ⚠ 注意事項!

イヤフォン・ヘッドフォンのプラグがリモコン端子より大きい場合は付属のイヤフォン変換プラグをご利用ください。



## 安全にお使い頂くために

**落とすなど、強い衝撃を与えないでください。**

プレーヤを高い所から落としたり、強い衝撃を与えると、製品に損傷が生じる可能性があります。

**プレーヤに水が入らないようにしてください。**

プレーヤに水が入ると内部の部品が損傷し、プレーヤに問題が生じる可能性があります。

水がかかった場合、乾いた布ですぐに拭いた後、技術者の点検を受けてください。

プレーヤを熱い場所の近く、直射光線が当たる場所、ほこりや砂の多い場所、水分、雨、振動があったり傾斜がかかった場所、窓をしめた自動車の中に放置しないでください。

**振動が激しい場所や磁石類のある所から遠ざけてください。**

クレジットカード、通帳など磁気の影響を受けやすいものを近付けないでください。

USBケーブルを介してのPCとH140間のダウンロード/アップロード操作中にPCの電源がオフになったり、ケーブルのプラグが突然外れたりすると、たとえH140のLCDに「Total 0000 Folder(s)」と表示された場合であっても、H140のデータが消失することがあります。このような状況が生じた場合は、PC上のスキャン・ディスク・ユーティリティをH140に適用すれば、このエラー・メッセージを修正できます。

## ヘッドフォン/イヤフォンに関して

**運転中には使用しない**

自転車、自動車、オートバイなどの運転中にはヘッドフォン/イヤフォンをご使用なさないでください。

また、歩行中でも特に横断歩道でヘッドフォンを大きな音量でご使用になると危険です。

**音量を上げすぎない**

- ヘッドフォン/イヤフォンを大きな音でご使用なさないでください。
- 長時間続けて大きな音で聞くと聴力に悪い影響を与える事があります。
- 耳鳴りがある時には音を下げるか、ご使用をお止めください。

**楽しい音楽鑑賞のために**

嗜好に応じて、同封されたイヤフォンスポンジを利用してください。

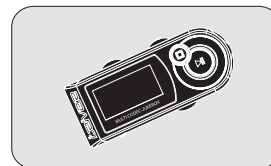
**周囲の人へのエチケット**

周囲の人の迷惑にならない程度の適度な音量でお楽しみください。

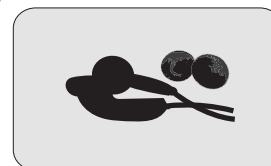
故障かな?と思ったら、次の項目をチェックしてください。

電源が入らない。	バッテリーが完全になくなったのではないのでしょうか? ACアダプタを接続しても同じ現象がおこるか確認してください。
音が出ないか、雑音が聞こえる。	Volumeが「0」になっていませんか? リモコン/イヤフォンがきちんと接続されていないか、または端子に異物がついていませんか?(異物がついている場合、雑音が聞こえることがあります。) Audioファイルのデータが損傷していると雑音が聞こえたり音が途切れることがあります。
LCDに変な文字が表示される。	Menu Display Languageメニューの言語設定がきちんと設定されているか確認してください。 (41ページを参照してください。)
ラジオを聞く時「ブ～、ザ～」という雑音が聞こえ、放送がきちんと入らない。	プレーヤとイヤフォンの方向を少しずつ変えてみてください。周辺にある電気器具の電源を切ってください。 この時雑音が少なくなれば、製品を電気器具から遠ざけてご使用ください。 イヤフォンはFMを聞く際、アンテナの役割をします。イヤフォンを接続しないと、放送がきちんと受信されないことがあります。
ダウンロードできない。	PCとプレーヤがUSBケーブルできちんと接続されているか確認してください。 バッテリーが不足するとデータの転送ができない場合もあるので、ACアダプタをご使用ください。
ACアダプタが動作しない。	100V専用です。入力電圧が合っているか確認してください。

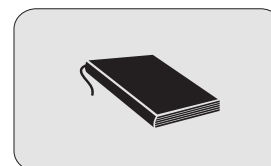
## 1 リモコン



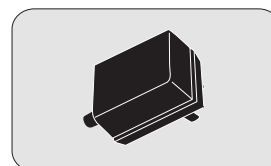
## 2 イヤフォンおよびスポンジ



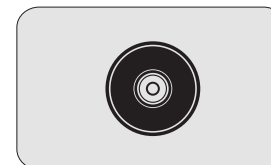
## 3 取扱説明書/保証書



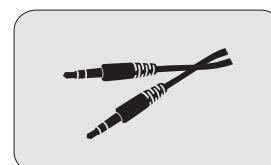
## 4 ACアダプタ



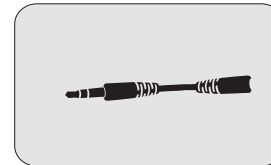
## 5 インストールCD



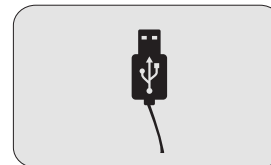
## 6 Line in/out接続ケーブル



## 7 イヤフォン変換アダプタ



## 8 USBケーブル



## 9 キャリーケース



\* 付属品は予告なしに変更することがあり、写真とは異なる場合があります。

ディスクサイズ	40GB
モデル名	H140

分類	項目	製品の仕様
オーディオ	周波数帯	20Hz～20KHz
	最大ヘッドフォン出力	左20mW+右20mW(16 )
	S/N比	左90dB、右90dB(MP3)
	周波数特性	±2dB
	チャンネル数	ステレオ(左右)
FMチューナー	FM周波数帯	76.0MHz～108MHz
	S/N比	50dB
	アンテナ	イヤフォンコードアンテナ
ファイルサポート	ファイルタイプ	MPEG 1/2/2.5 Layer 3、Ogg Vorbis、WMA*、ASF、WAV
	ビットレート	32Kbps～320Kbps (Ogg：32Kbps～500Kbps、44.1KHz)
	タグ情報	ID3 V1、ID3 V2 2.0、ID3 V2 3.0
電源供給	ACアダプタ	DC 5.0V、2A
プレーヤ本体	寸法	約60(W)×22(L)×105(H)mm
	重量	約172g
全般	使用温度範囲	0～40
最大再生時間	MP3 / WMA / ASF	16時間

\* Windows Media Player9で作成されたWMAファイルの再生には対応していません。

## 動作環境

### PC

対応OS： Windows 98SE/ME/2000/XP

CPU： Pentium 133MHz以上

メモリ： 10MB以上の空き容量

ドライブ： CD-ROMドライブ必須

インターフェース： USBインターフェース(標準装備に限りです)

動作環境を満たすパソコンの中でも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。

### <動作環境に関するご注意>

Windows 95/3.1、Windows 98、Windows NTでは動作致しません。

Windows 2000は、Windows 2000 Professionalのみ保証対象となります。

以下の条件では動作保証致しません。

- ・ Windows OSをアップグレードしたパソコン。
- ・ USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコン。

Macintosh OSではDB作成機能はご利用いただけません。

### Macintosh

対応OS： Mac OS X

メモリ： 10MB以上の空き容量

ドライブ： CD-ROMドライブ必須

インターフェース： USBインターフェース(標準装備に限りです)

動作環境を満たすパソコンの中でも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。

## アフターサービス

### 1. 保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。お買い上げの際は必ず販売店より「購入日」と「販売店印」欄などの記入をお受けください。

保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。また、保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください。

### 2. 修理をご依頼の前に

本取扱説明書のトラブルシューティング、ホームページのFAQをよくお読みいただき、それでも解決しない場合にはアイリバー・ジャパン サポートセンターまでご相談ください。

#### アイリバー・ジャパン サポートセンター

☎ 0120-266-551 E-mail: [info@iriver.co.jp](mailto:info@iriver.co.jp)

受付時間：月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00（土、日、祝祭日を除く）

ホームページアドレス <http://www.iriver.co.jp>

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2丁目2番地 センタークレストビル2階

誠に恐れ入りますが、年末年始などのサポートセンター休業日にはお電話をお受けできない場合もございますのであらかじめご了承ください。また、サポートセンターの電話が通話中の場合、誠に恐れ入りますがしばらくたってからおかけ直しいただけますようお願い申し上げます。

#### < ご注意 >

本製品で記録したものを私的な目的以外で、著作権者およびほかの権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは著作権法および国際条約の規定により禁止されています。

本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんのであらかじめご了承ください。本製品およびパソコンの不具合により音楽データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償はご容赦ください。イヤフォン使用時には、周囲の音が聞こえにくくなりますので、自転車や自動車などの乗り物を運転するときや、道路を横断するときなどは絶対にお使いにならないでください。また、音量を上げすぎで、周囲の迷惑にならないようご注意ください。本製品に関するお問い合わせ、サポート、およびカタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。記載の外観、および仕様は、改善等のため予告なく変更される場合があります。

#### < 商標について >

iRiverは、大韓民国およびその他の国におけるiRiver Limitedの登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。

Microsoft Windows MediaおよびWindowsロゴは、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

その他記載のシステム名、製品名および会社名は各開発メーカーの商標または登録商標です。